



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2023～2024年度 RI会長 ゴードンR.マッキナリー
RIテーマ 世界に希望を生み出そう

クラブテーマ「芽生えた双葉を育て、希望の花を咲かせよう！」

会長 岡良森 幹事 篠木喜世

第1549回例会 2023.12. 8(金)晴

司会：鈴木俊也君

ロータリーソング「我等の生業」 指揮：高村勝則君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 岡 良森君

年内のここでの例会は最後になります。次週はクリスマス家族会ですね。多くの参加者が予定されています。親睦委員会の皆さんよろしくお祈りします。

クリスマスシーズンだというのに暗いニュースが続きますね。私たちロータリアンは、政治思想はともかく、平和を追求している団体でもあるわけです。楽しいクリスマスそして楽しいお正月を迎えられることを祈っております。

これまで、私は比較的ロータリー活動をまじめに取り組んできたつもりですが、もう一つ、ライフワーク的に取り組んでいるのが、三島市国際交流協会(MIRA)の活動です。

10年以上前にこのクラブから同協会へ理事として参加したことがきっかけです。スペイン語の講習を5年間受講し、日本語を教える講師になるための講習も受講しました。

また、都市交流委員会の委員長として三島市と姉妹提携を結んでいるアメリカ・ニュージーランド・中国の都市との交流事業を担当したりしております。

今日は、その協会の活動の中で出会いましたウクライナの方をゲストでお招きしました。原アンナさんです。そしてこの地に避難してきましたお母さまと一緒に。サポートとして国際交流協会のメンバーも駆けつけてくださいました。後ほど現地のお話などをご紹介いただく予定です。

野村社会奉仕委員長から連絡をいただきました。先週実施した食料品などの贈呈に関して三つの団体から丁寧な謝意が後日伝えられたそうです。我々は行政ではありません。広くあまねくというわけには行きませんが贈呈先の家庭に笑顔が生まれたことを想像するとこの季節柄“ほっこり”します。ご協力ありがとうございました。

本日の“乗り鉄”ネタは、東武鉄道です。この車両の名前はスペーシアXです。日光方面に向かう特急列車です。久しぶりにリニューアルされました。先進的なフォルムではありますが私鉄在来線を走りますので速度はそれほど速くありません。最大の特徴は、多彩な車両内空間です。通常の指定席の他、カフェテリア車両、展望車両があり、さらに個室まで用意されています。最大7名が座れる個室があり人数に関係なく個室料金のみで乗車できます。浅草から日光まで素敵な鉄道旅が味わえます。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

宮澤友一さん(岡・山口(辰)君のゲスト)
原 アンナさん
ネジェリコ・マリーナさん
小嶋万美子さん(三島市国際交流室)
久保寺美紀さん



出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	23/36	63.90%	26/36	72.20%
今回	25/36	69.44%	会員総数	38名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(司)君、伊丹君、小林君、篠木君、杉橋君、杉山君、土屋(和)君、土屋(巧)君、矢岸君、米山君、渡辺君
(*出席免除会員の欠席者 遠藤君 片野君)

おめでとう

入会記念日

12月27日

矢岸貞夫君

年次総会

12月1日、クラブ総会が行われた。

冒頭、慣例で議長を務める岡会長から総会が成立している旨の挨拶に続き、確認すべき3点の議題について報告があった。

①前年度クラブ決算報告

事前(10月)に決算の報告書が各会員に送付されており、本件に関する質疑等もなかったことが報告された。会員から承認の拍手で確認された。

②今年度前期予算執行状況報告

岡会長より今年度前期において全ての委員会における活動が、予算内で推移していること報告がなされた。

③会長ノミニーに関する件

11月に編成された指名委員会が11月24日に開催されたこと、その中で服部光弥君が満場一致で指名されたことが岡会長より報告され、会員の拍手により承認された。

④会長エレクトによる次年度理事の発表

仲原会長エレクトより定款に基づく次年度幹事・会計が発表された。

次年度幹事 原 兄多君 会計 高橋大輔君

その他の理事については、後日正式に発表される。

委員会報告

35周年記念事業実行委員会 委員長 山口辰哉君
2024年4月13日(土)に予定されています「当クラブ創立35周年記念事業」の一つであります「地球のステージ」ですが、野村副委員長の尽力で順調に進んでおります。本日も会長と野村さんが三島市、函南町ほかに後援申請に動いていただいております。各テーブルに「仮見本」のチラシを置かせてもらいましたのでご確認ください。

社会奉仕委員会 代読 仲原実圭君
12月1日の例会にて行った食糧支援の目録のお米の配布を12月11日11:00~JA函南支店で行います。日程の調整のつく方は是非ご参加ください。

IM実行委員会 委員長 加藤 正幸君
本年度に入り数十回の実行委員会を開催し、各々、各委員会につきましては4回の個別委員会を開催していただき大変感謝しています。当クラブから輩出した米山ガバナー補佐率いる静岡第1グループのテーマはコロナ禍状況を打破して『躍動と親睦』を目指し、『伊豆半島のロータリーはひとつ』をテーマに掲げ8クラブの会長幹事および会長エレクトとの親睦ゴルフコンペや各クラブとの懇親会など活動をしています。また、2620地区方針であります『地域が本当に必要としていることをしよう』では三島から下田までの各市町の後援を得て各市町村の社会福祉事務所を通じて1600Kのお米を生活困窮者に届ける事業も進み、残すは伊東市だけと聞いています。そのような活動を後押しすべく、せせらぎ三島IM実行委員会は静岡第1グループのIM本番に向かって突き進んでいます。

IMのテーマは『何とかしよう!子どもの孤独』です。基調講演では全国こども食堂支援センター『むすびえ』様の講演です。内容は委員会と結んでいます。記念式典ではプログラムは内定し、担当にお願いする状況になっています。懇親会では『伊豆半島のロータリーはひとつ』のテーマを達成すべく親睦委員会の皆さんが知恵を出し合い、現在企画中です。プログラムを配布させていただきましたのでご覧ください。これまでのご協力を感謝するとともにこれからもご理解とご協力をお願い致します。

卓話

本日の卓話は、ゲストスピーカーによる卓話です。改めてご紹介します。原アンナさんとお母さまです。サポートメンバーは三島市国際交流室の小島さんと久保寺さんです。

皆さん、今日は”何の日”かご存じですか?82年前の今日、あの真珠湾攻撃が行われた日です。80年以上経過した日本では、自ら関わった戦争でさえ遠い記憶になり、語られることすら稀になったような感じですが、しかしながらご存じの通り戦争は、この80年間も常にどこかで起きているのです。そして善良な市民や子供たちがその犠牲になっているのです。我々ロータリアンは常に世界の平和を追求したいものです。



スマイルボックス

中村徹君:先週の例会は社会奉仕委員会の活躍に目を見張る思いで、出席していました。野村さんお疲れ様でした。皆さんはロータリーの友誌今月号、12月号17ページに、「1923年生まれの「決議23-34」100年の通過点で」という記事がありましたが、読まれましたか。ロータリーの基本理念である「社会奉仕に関する1923年の声明」「社会奉仕に関する声明」「四つのテスト」「ロータリーの目的」は「ロータリーの戦略計画」と共に手続要覧の冒頭を飾る序文です。これらの声明文は真のロータリアンとしての心構え、指針を示唆してくれます。若い皆さんは容易にweb上で読むことができます。今年度前期の岡会長が貫いた方針はこの「社会奉仕に関する1923年の声明」イコール、日本のロータリアンの原点の実践だと思えます。年明け早々当クラブはIMがあり、35周年式典と続きますが、会長には引き続き、リーダーシップをとっていただき、IM加藤正幸実行委員長、山口辰哉式典実行委員長を各例会で盛り上げ、クラブ会員全員の士気を会長挨拶の中で、高めていただくよう、是非ともよろしく申し上げます。

加藤貴康君:今週は2回のゴルフコンペでスコアも復調してきました。馬とピンゴで1等賞でしたのでスマイルします。

大川泰君:日本最強馬イクイノックスが引退しました。スマイルします。

野村諒子君:せせらぎ三島ロータリークラブの支えあい事業へのご協力ありがとうございました。3団体とも大変喜んでいました。今後とも社会奉仕事業にご協力よろしく申し上げます。今日はこれから議会です。よろしく申し上げます。

原兄多君:例会中所用のため離席します。申し訳ありません。

山口(雅)君:すみません、本日の会議の為早退させていただきます。